

平成 27 年度 第 2 回とがちプラザ運営審議会 議事要旨

- 1 日 時 平成 28 年 2 月 23 日 (火) 14 : 00 ~ 16 : 30
- 2 会 場 とがちプラザ 3 階 特別会議室
- 3 出席委員 天内 道子、池田 知佳士、石塚 龍一、角田 公美子、木川 博史、
邦 成一、作田 克博、塩野 順子、鈴木 新一、鈴木 敏市、目黒 久美子
(以上 11 名 敬称略)
- 4 事務局 生涯学習部長 神田 亜紀志
生涯学習部企画調整監 葛西 克也
生涯学習課長 樂山 勝則
商業まちづくり課主査 長谷川 雄三
生涯学習課係長 島田 猛
生涯学習課係員 岩崎 真実 (以上 6 名)
- 5 オブザーバー とがちプラザ館長 黒川 明彦
とがちプラザ副館長 上鹿渡 猛 (以上 2 名)
- 6 会議次第
 - (1) 開会
 - (2) 帯広市生涯学習部長挨拶
 - (3) とがちプラザ運営審議会委員長挨拶
 - (4) 議事
 - (5) 閉会
- 7 議事要旨

(1) 施設視察及び施設の利活用促進について

事務局より「帯広市の公共施設のあり方に関するアンケート」の調査結果について説明したのち、施設内見学を実施。

【質問・意見等】

○委員

施設視察を通し、館内にはまだまだ利用できる機能があることがわかった。前回の審議会で和室の利用率が低いという問題が挙がっていたが、所属団体に持ち帰り、和室を利用する活動を行うこととなったので、この場を借りて報告する。

○委員

なかなか部屋の予約が取れない現状であり、部屋の大きさに合った人数での利用をされたい。

●事務局

利用人数や利用目的に合った利用を呼びかけていきたい。

○委員

調理室を視察したが、皿の並べ方等安全面に不安を感じた。利便性を高めることと併せて、安全面の確保に努められたい。

●事務局

指定管理者が、食器棚に突っ張り棒を設置するなど安全対策を行っているが、今後もより安全に利用していただけるよう、指定管理者と協力していきたい。

●事務局

突っ張り棒が邪魔になっているというご意見もいただいている。指定管理者とも相談したうえで、より安価でより良い対策をとっていきたい。

○委員

コピー機を使用することがあるが、設置場所に^{ひとけ}人がなく利用できるものかわかりにくい。防犯に関する不安もある。わかりやすい場所に設置してほしい。

●事務局

4階の団体交流室の有料コピー機のことによろしいか。各部屋に、コピー機の場所の案内図を設置している。案内方法や設置場所について、よりわかりやすく、安全な設置場所がないか検討していきたい。

○委員

調理室を利用することがあるが、置いてある箸が短く滑るため、使いにくい。

●オブザーバー

(備品の更新について) 検討させていただく。

○委員

インターネットでの予約について、空室状況はどのように確認できるのか。

●事務局

施設予約システムというものがあり、百年記念館やスポーツ施設などの予約状況について確認できるほか、仮予約をすることも可能である。

○委員

とかちプラザの役割は各コミュニティセンターの延長であり大差がないのではないか。

現在、それぞれの地域での学習活動が活発化しており、地域で行っている活動をわざわざ中心街に出てきてまで行うことのリスクはかなり大きいと考える。そういった中で、どのようにして(地域の市民に)ここに来てもらうのか。生涯学習のニーズが高まっているが、わざわざここに来てもらうことはハードルが高いのでは。

●事務局

とかちプラザでは、指定管理者の自主事業を行っているほか、様々な機能をもった貸し部屋を備えているといった特性がある。また、JR 帯広駅の南向かえに立地しているため、交通の便が良く、帯広市内のみならず、十勝管内から多くの方にご利用いただいている。

○委員

駐車場が狭いなどの不便さがある。人数もまだまだ利用率が低い部屋がある。かなり頑張らなければならないと思う。

●事務局

地域のコミュニティセンターと競合しようという意図はなく、立地を活かした中で、より全体的なご利用をいただきたいと思っている。また良いアイデアがあれば是非お寄せいただきたい。

○委員

現在の利用率を上げたいのか、それとも維持したいのか。

●事務局

利用率が上がることで、施設機能を発揮し、施設の役割を果たすことにつながるほか、利用料金収入が増える。とかちプラザにはまだ利用率の低い部屋があるため、利用率及び利用者数の増加を目指したい。

○委員

利用者が増えれば増えるほど良いということによるしいか。

学生の利用があまり多くないように思うが、施設の利用に関する周知だけではなく、利用方法について知ってもらえる機会を設けてみてはどうか。

●事務局

施設のPR方法については、インターネットを活用し、動画で紹介するなどの方法も検討しており、指定管理者と協議しながら進めていきたい。新たなアイデアがあれば、是非ご提案いただきたい。

○委員

資料の「帯広市の公共施設のあり方に関するアンケート調査結果」には、高校生の利用が少ないと示されている。将来を担う若い世代を対象に、PRしていくべきではないかと思う。

○委員

我々は公共としての取組について考えるべきか、それとも物販等の営利といわれる取組について考えるべきか、審議していく方向はどちらなのか。

●事務局

とちプラザは帯広・十勝の生涯学習の拠点であり、施設設置目的に沿い、より多くの方に施設をご利用いただくことで、生涯学習機会を広げていきたいと考えている。

●事務局

加えて、とちプラザは定住交流センターの機能も担っており、中心市街地の活性化を目的とした機能も持ち合わせている。このように、とちプラザが持つ多様な機能についてPRしながら、利用者数の増加に向けて取り組んでいきたいと考えている。

(2) 平成28年度の本取組について

事務局より、「1階女性用トイレ洋式化」、「吸収式冷温水機（館内空調ボイラー）更新」、「広告料収入」、「施設PR方法」、「とちプラザ収支差益還元（指定管理者の取組）」について説明。

【質問・意見等】

○委員

1階女性用トイレ洋式化に関する説明について、「和服を着用した利用者を考慮し和式トイレを各階に1基残す予定」ということだが、これは和服を着た利用者から意見を聴取したうえでの考えなのか。

●事務局

意見聴取等は行っておらず、あくまで想定である。

○委員

和服を着用する茶道及び華道の関係者の一部の方を対象に、独自に聴き取りを行ったところ、全員が和式トイレよりも洋式トイレを選択して使用すると答えた。利便性のほか、衛生面においても、和式トイレは好まれない。反対に和式トイレを残す意義を伺いたい。

●事務局

おそらく全ての利用者が洋式トイレのみを使うわけではないと考える。様々な利用者の中で、トイレの利用方法についても多様性を保ちたいという考えがあるため、各階に和式トイレを1基残しながら、トイレの洋式化を進めてまいりたい。この点について、ご理解を賜りたい。

○委員

広告料について、目標額は設定しているのか。

●事務局

予算は既に組んでいる。実際の価格については、入札による決定としているので、予定価格の公表は控えさせていただく。

○委員

広告はどこに掲示されるのか。

●事務局

例年、帯広観光コンベンション協会が掲示している横断幕の下に、高さ3メートル、幅4メートルほどの大きさの広告を2枠掲示する予定である。

(3) 平成27年度の施設運営状況について

事務局より、「施設利用状況」、「決算見込」について説明。

【質問・意見等】

○委員

今年度は菊まつりをとまちプラザで開催したことにより、利用者数が増加したということだが、菊まつりによる利用者数はどれほどか。

●事務局

5日間の開催で、2万6,180人である。

(4) 今後の施設運営に係る諸課題について

事務局より「休館日」、「指定管理期間」、「施設貸部屋の区分貸と時間貸」に関する課題について説明。

【質問・意見等】

〈休館日について〉

○委員

駐車場の問題を考えると、とまちプラザと同じく毎週月曜日を休館日としている図書館と、休館日の設定をずらすことができれば良いのではないか。

○委員

一週間の中で、利用の少ない曜日があるのではないか。印象としては、週の中日は人があまり出歩いていないと感じているため、水曜日を休館日にしても良いのではないか。

●事務局

曜日別の利用率の集計を行っており、週末から週休日にかけて利用が増加していく傾向にある。

○委員

施設管理や労務条件の問題もあり、一概には言えないが、利用者数の増加を目指す観点から考えるのであれば、それに合わせた休館日の設定をしても良いのではないか。また、ホームページなどで事前に休館日の変更についてきちんと周知されるのであれば、特段支障がないと考える。

●事務局

平日の利用については、5日間で大きな差はない。休館日の設定については、利用者の利便性を重視していきたいと考えている。

○委員

利用者として伝えたいが、私の所属団体では、毎年4日間のイベントを開催しており、実際の開催日のほかに準備期間を考慮すると、5日間連続した利用となる。そういった状況で、週の中日に休館日があると、利用しにくくなる。

○委員

私のほか、多くの方の中で、とまちプラザの休館日は月曜日ということ定着していると思う。所属団体の次年度活動計画も、とまちプラザは月曜日が休館日と認識したうえで進めているため、現行のままで良いと考える。

〈指定管理期間について〉

質問、意見なし。

〈施設貸部屋の区分貸と時間貸について〉

○委員

利用者としては、区分貸よりも時間貸の方が利用しやすい。しかし、利用料金や利用率の問題も考慮しなければならない。区分貸と時間貸の利用について、何か調査はしているのか。

●事務局

平成24年度より一部の区分貸の部屋を時間貸に変更したところだが、利用料金は若干ではあるが増加している。利用件数も増加しており、利便性の向上による増加と考えている。

○委員

承知した。ただし、レインボーホールのような部屋では、時間貸を導入するにはデメリットが大きいと考える。それぞれの部屋の特性に合わせた貸し出し方法を考慮していくべき。

以上